

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,772人、世帯数は777世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和2年3月末現在】

○和田地区：面積 約14.4㎢ （佐倉市：面積 103.69㎢）

○和田地区：住基人口 1,772人 （佐倉市：住基人口 174,695人）

○和田地区：人口密度 123人/㎢ （佐倉市：人口密度 1,684人/㎢）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4は休館

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年4回発行

5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用件数 (件)	540	620	627	613	491
利用人数 (人)	8,284	8,060	7,345	6,875	6,451
開館日数 (日)	335	333	333	333	307

令和元年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	2,796	489	17.5%
調理実習室	2,796	558	20.0%
団体室	2,796	286	10.2%
会議室	2,796	701	25.1%

※市内の公民館は、令和2年3月5日（木）から31日（火）まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した。また、和田公民館は令和2年2月22日（土）から23（日）において空調設備工事のため休館とした。

なお、上記の事情により、施設によって利用可能回数の差異が生じている。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	就学前の乳幼児と保護者等	7/12 21人 7/19 11人 8/ 9 59人 10/ 9 22人 10/18 21人 12/13 36人 3/19 中止	楽しい親子での遊びや、講師からの指導により、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて考える機会とした。 ・7/12「マイうちわをつくろう 保健師から夏の健康について」 ・7/19「家族が笑顔になるベビーマッサージ講座」 ・8/ 9「親子教室・おやつについて」 夏休み中の和田小学校児童も参加 ・10/9「親子ふれあい体操と歯の話」 和田幼稚園児も参加。 ・10/18「ミニミニ運動会」 ・12/13「サンタさんと一緒にクリスマス会」 ・ 3/19「お別れ会」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	8/25 26人 10/ 1 10人	・8/25は地区幼小中学校等の親子を対象に親子クッキングを行った。 ・10/1はアメリカン陶芸を行った。
青少年教育	剣道教室	地区の小学生 20人	5月～ 3月 40回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/20 77人	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/30 ダンス 21人 調理 16人 8/ 7 マナー 11人	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高めることを目的とした。 ・7/30 午前：ダンススタジオコーチによる「ダンス教室」 昼：地元の方の指導による「調理実習」 ・8/7 地元レストランにて：テーブルマナーを学びながら野菜についての話を聞き楽しく会食。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	8/17 20人	中央公民館と共催で実施。 ・8/17は和田ふるさと館で実施。専門講師のゼミを受けた後に、駐車場スペースを星空観察会場として観察を実施。 ・8/23はJAXA筑波宇宙センターにバス見学に行った。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	8/28 17人	優良な映画の鑑賞やその他様々な機会を提供することで、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう。地元の方が参加され、海外でも公演しているお話会の紹介を受けたことからお話会を実施。集中して聴いていた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/ 2 11人 10/ 6 12人 2/ 2 20人	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生等 各15人	8/ 2 11人 12/15 12人	・8/2は公民館利用団体の指導で水引きストラップ作成。昼食も一緒no ・12/15ふるさと館にて青少年相談員指導により六角凧作りを行う。昼食はPTAが調理したカレーを食べ、午後は和田小グラウンドにて凧あげをした。

領域	事業名		対象	期間・回数	内容	
成人教育	佐倉学	佐倉学体験講座 ふるさと味工房		市内の成人 各15人	10/24 14人 11/26 20人 1/15 16人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図ることを目的としている。毎年人気の高い講座である。 【太巻き祭り寿司、蒟蒻作り、和田の新鮮野菜料理（大和芋）】
		佐倉学講座 地域学		市内の成人 15人	6/ 1 9人 7/13 12人 8/31 15人 9/28 9人 12/14 10人 1/18 12人 2/29 中止	・6月は佐倉野草会会長を講師として、野草観察を実施。 ・7月は地元農業指導家より、地区の歴史や自然農法等について学んだ後、蛍鑑賞を行った。 ・8月は千葉県環境財団の方を講師として、湧き水についての講座を行った。 ・9月は歴史専門家に地区の古代の歴史について指導頂いた。 ・12月は地元食材を活用した料理実習 ・1月は養豚事業者による講話 ・2月は近隣地区とのワークショップの予定のところ感染症拡大防止のため中止
	和田市民大学	手芸教室		60歳以上の地区 の成人 10人	4/ 5 5人 5/17 7人 6/ 7 4人 7/ 5 8人 8/ 2 6人 9/ 6 7人 10/ 4 8人 11/ 1 6人 12/ 6 8人 1/17 6人 2/ 7 8人 3/ 6 中止	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図り、また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導した。夏休み中に「子ども手芸教室」にて「みずひきストラップ」作成指導を行った。文化展への作品作りと出品を積極的にしていただき、会員による2名の増員が達成できた。3/6感染症の拡大防止のため中止とした。
		和田工芸講座		市内の成人 10人	7/13 14人 8/10 14人 9/14 14人 12/22 23人 2/ 2 23人	地元陶芸家を講師として招き、文化展に展示するため陶芸作品づくりを連続で行った。12/22しめ飾り講習会、2/2ストラップミニ草履教室を行う。
		地区交流会		地区の成人 40人程度	3/14 中止	地区の高齢者をはじめ多様な世代が、地域交流を通して心身ともに健康に過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を計画するも感染症の影響により中止。
成人教育	和田地区防災講習会		地区の成人 50人程度	1/31 30人	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な講習、訓練等を行うもの。令和元年9月～10月の台風災害に係る講習会を実施した。	
	合同研修会		地区内の住民団体	12/ 8 23人	人口減少・少子高齢化などの地域課題などに対応するため行う研修会。茨城県内の農業体験施設等を視察。	
団体育成	団体育成事業		和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議等	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が円滑に活動できるよう協力支援した。	
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	年5回発行 5月 9月 10月 12月 3月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布。（各700部）	
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示	
		見学	市内小学校及び一般団体等	通年	市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。	
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。	

1. 家庭教育事業

子育て教室

①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識習得の機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮する。

②募集対象 就学前の乳幼児とその保護者等

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月12日(金) 10:00~11:30	「マイうちわ作り・夏の健康について」 (地区社会福祉協議会内子育て支援団体： ママのほっとタイム共催)	増進課保健師
2	7月19日(金) 10:00~11:30	「家族が笑顔になるベビーマッサージ」 生後6か月から2歳ぐらいまでの乳幼児	ベビーマッサージ教室 主宰者
3	8月9日(金) 10:00~11:30	「親子教室・おやつについて」 夏休み中の和田小児童も参加。異世代交流 (地区社会福祉協議会内子育て支援団体： ママのほっとタイム共催)	栄養士・食生活改善推進員/社協子育て支援団体
4	10月9日(水) 10:00~11:30	「親子で楽しく体操・ダンスと歯のはなし」 和田幼稚園児参加	スポーツリーダーバンク指導員 歯科衛生士
5	10月18日(金) 10:00~11:30	「ミニ運動会」 (地区社会福祉協議会内子育て支援団体： ママのほっとタイム共催)	高梨 直子
6	12月13日(金) 10:00~11:30	「サンタさんと一緒にクリスマス会」 (地区社会福祉協議会内子育て支援団体： ママのほっとタイム共催)	社協子育て支援団体/ 公民館職員
7	3月19日(木) 10:00~11:30	「お別れ会」中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため (地区社会福祉協議会内子育て支援団体： ママのほっとタイム共催)	社協子育て支援団体/ 公民館職員

④講座を終えて 少子化の中、和田地区社会福祉協議会内の子育て支援団体と共に手を携え、協力しながら子育て中の親を心身ともに支える時間や場の提供をすることが出来た。また毎回、単発的に様々な専門講師の方を依頼し、親にとっては育児の知恵を享受でき、かつ、育児中の不安な気持ちを共有しあう仲間づくりの場となるように心掛けた。今年度は和田地区に限定せず、広範囲に呼びかけをしたため、他地区からも参加していただき、幅広い人間関係づくりが出来た。

教室修了後に親が講師補助として事業に参画するなどの協力体制が続いており、今後も、地域子育て支援団体と連携を密にしながら和田の子育て環境をよりよいものにしていきたい。

楽しく家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象 地区内の幼児及び小学生の保護者 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月25日(日) 9:30~12:00	親子クッキング:元料理人の地元の方による、親子対象とした料理づくり講座	藤崎 敦也
2	10月1日(火) 9:00~12:00	アメリカン陶芸体験:保護者を対象とした陶芸体験講座	藤原 真由美

④講座を終えて 親子クッキングは地元講師による料理指導で、親子10組が参加し、有意義な時間を過ごした。親子や参加者同士の親睦を図る事、家庭で使えるプロの料理法を学ぶ事が出来て、次回も実施して欲しいとの声を多く聞いた。

アメリカン陶芸はあらかじめ素焼きした陶器に絵付けする方法で行った。

参加保護者は子供向けのキャラクターや家族の絵など思い思いの、デザインを描くなど、家族への思いを深める事が出来たと感じた。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③開設期間 令和元年5月～令和2年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、江野澤 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑤講座を終えて 剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月20日(日) 10:00～12:00	グラウンドゴルフ	和田地区 スポーツ推進員

- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子供と地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図れるようにした。(和田小学校グラウンドで実施)

夏休みおもしろ体験教室

- ①開設趣旨 保護者と地域の協力による自主性、協調性、社会性を高める体験教室
- ②募集対象 ダンス・調理実習/地区小学生 20人 マナー/地区小学生 15人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月30日(火) 9:00～11:00 11:30～14:00	・ダンス教室 ・調理実習 (1)牛肉とごぼうの混ぜご飯 (2)さくらエビと青のりの卵焼き (3)きゅうりのカレー味ピクルス (4)バナナケーキ	ダンス教室講師 六崎 美知代 (地区協力者) 高梨 直子 (地区協力者)
2	8月7日(水) 12:00～14:00	・レストランシェフから学ぶ レストランマナーと野菜のはなし	長島 嘉一郎 (地区協力者)

- ④講座を終えて この講座は子どもたちが何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って公民館で様々な体験事業を実施するものである。
- ・「ダンス教室」は市内ダンス教室の講師に協力を仰いだ。ダンスは中学校で必須であることと、自分の身体で自由に表現することの楽しさを知ってもらいたいと計画した。元TDLダンサー経験を持つ講師に、下級生の練習を上級生が手助けするようなチーム作りや自ら考え動くような指導をしていただいた。最初は照れていた児童も目を輝かせて楽しそうに動き、最後にはステージ上で自信を持って発表することができた。

- ・「調理実習」は地元料理指導者2名から調理前の手洗い、ゴミの片づけ方など衛生面等の指導をいただく。実習全体を通して、料理作りの楽しさはもちろん、高学年の児童が年下の面倒を見ることなど、協力しあうことの大切さを感じてもらえたと思う。
- ・「レストランシェフから学ぶマナーと野菜のはなし」では、地元レストランにてシェフから洋食のマナーを学び、皿に並ぶ野菜の解説を聞きながらナイフとフォークを使い、大人気分を味わって楽しく会食。少し緊張しているようにも見えたが、作っていただいた料理に感謝をもち、普段と違う雰囲気の中での体験は良い刺激になったようである。

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 小学5・6年生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月17日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立てることが出来た。また保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まったと思われる。

子ども芸術鑑賞会

- ①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。
- ②募集対象 地区の小学生
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月28日（水） 9:30～11:00	子どもお話し会	末吉 正子主宰 佐倉ゆうゆう塾

- ④講座を終えて 和田公民館において、「ゆうゆう塾」のお話し会は今年で2回目となる。地元の方が加入されている会であることから依頼した。幼児から大人までが楽しめ、演者の方の身振り、手振り、感情豊かな表現に児童たちはすっかり引き込まれて、飽きることなく集中して聴いていた。ゲームや映画のように画面からではなく、人の体温や息遣いが感じられ、地元の昔話をに入れていただいたこともあり、とても好評であった。

佐倉っ子塾 料理教室

①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。

②募集対象 地区の小学生 各回20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月 2日(日) 9:30~12:30	(1)肉豆腐 (2)ソーセージともやしの味噌 バタースープ (3)クイックパン ミルクティー味	六崎 美知代(地区協力者) 高梨 直子(地区協力者)
2	10月 6日(日) 9:30~12:30	(1)人参と林檎のポーピエット (2)ゆでハムとレタスポン酢 (3)ビクトリアン サンドイッチケーキ	六崎 美知代(地区協力者) 高梨 直子(地区協力者)
3	2月 2日(日) 9:30~12:30	(1)恵方巻 (2)だまっこ汁 (3)バーケーキ (4)チョコレートプリン	六崎 美知代(地区協力者) 高梨 直子(地区協力者)

④講座を終えて 子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学んでいる様子が感じられる。男子児童が一人であっても意欲的に自ら申し込みしてくる事業であることから、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっている。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

①開設趣旨 手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象

- ・夏休み編み物体験 地区の小学生 12人
- ・凧づくり体験 地区の小学生 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月2日(金) 10:00~14:00	夏休み編み物体験 (水引ストラップ)	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒
2	12月15日(日) 9:00~14:00	凧づくり体験 (六角凧)	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

④講座を終えて 「夏休み編み物体験」は、和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流ができたとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができた。手作りの楽しさや地域の高齢者との関わりを楽しんでいた。

「凧づくり体験」は、ふるさと館にて、和田地区青少年育成住民会議、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施し、六角凧作りを行った。各々、自分で絵を描き、色付けをし、指導を受けながら組み立てていく。大変な部分もあるが、凧づくりを通して貴重な機会が提供出来ていると捉えられる。昼食はPTAの方々がカレー作りをして、皆で楽しい会食となった。午後は和田小グラウンドにて凧あげをした。自分で作成した凧が風を受けて揚がって行く様子に嬉しそうに歓声をあげていた。

3. 成人教育事業

佐倉学体験講座 ふるさと味工房

①開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図り、食文化の伝承を図る。

②募集対象 市内在住・在勤・在学の方 各15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月24日(木) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座	石渡 暁子
2	11月26日(火) 9:30~13:00	蒟蒻づくり体験講座	牛玖 昌弘
3	1月15日(水) 9:00~13:00	和田の新鮮野菜料理講座 (大和芋)	食生活改善推進員 根郷・和田支部

④講座を終えて ふるさと味工房については、平成12年から続いている講座であり、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となっている。この講座は、講師の教え方の上手さもあり多くの方のご参加を頂いている。調理をし、食事をしながらいろいろな裏ワザや食に関する情報の提供ができ、参加者は楽しく講座に参加していた。第3回講座は、佐倉市広報番組「weekly さくら」の取材を受けた。

佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学

①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象 市内の成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月1日(土) 9:30~12:00	オリエンテーション 初夏の地域散策	佐倉野草会 会長 近藤 維久子
2	7月13日(土) 18:00~21:00	蛍の生態	和田未来農業研究会 藤崎 言行
3	8月31日(土) 9:30~12:00	水を活かした地域づくり	千葉県環境財団 岩井 久美子
4	9月28日(土) 9:30~12:00	古代の和田	文化課職員 松田 富美子
5	12月14日(土) 9:30~12:00	和田食材料理づくり	地元料理講師 佐々木 寿美子
6	1月18日(土) 9:30~12:00	和田の養豚	地元農業指導者 熱田 好司
7	2月29日(土) 9:30~12:00	地域交流グループワーク ・新型コロナウイルス感染拡大防 止のため中止	ふるさと弥富を愛する会 岡本 美典

④講座を終えて 和田で行われている新しい農業の取り組みの体験等を行った。地元住民との交流の中で歴史・自然・伝統文化等を知るための貴重な機会になった。

和田市民大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸を通して地域の親睦交流を深めつつ、知識や技術の習得をし生きがいづくりを図る。また、受講生が児童に手芸を指導する立場になり交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。
- ②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人
- ③実施期間 平成31年4月5日～令和2年2月21日 11回
- ④講座を終えて 長年にわたる活動により、受講生の手芸技術が向上してきており、積極的に自ら進んで新しい技術の指導を受け、ますます意欲が高まっている様子が伺えた。また、夏休みには、編み物体験教室を開催し、受講生が講師となり、子どもたちとの交流を持つことで、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。受講者や公民館の声掛けにより、新規加入者があった。

和田市民大学和田工芸講座

- ①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。
- ②募集対象 市内成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月13日(土) 9:30～12:00	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	8月10日(土) 9:30～12:00	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	9月14日(土) 9:30～12:00	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世
4	12月22日(日) 13:00～16:00	しめ飾り講習会	和田小学校PTA 民俗資料収集委員会
5	2月2日(日) 13:00～15:30	ストラップミニ草履づくり教室	和田小PTA関連団体

- ④講座を終えて 「陶芸講座」については、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し、受講者は懇切丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。完成した作品は11月の文化展に展示した。

「しめ飾り講習会」は、わら工芸という事で、玄関飾りの作成を行った。毎年恒例の参加者はここで年末に自宅に飾るものを作成している。

「ストラップミニ草履づくり教室」においては、マンツーマン指導であったこともあり、受講生は大変満足し次回の参加を希望される声もあった。講師側も次世代を担う若い世代が中心となっており、熱心に技術を磨くべく練習に励み指導にも熱が入っている。

合同研修会

①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。

②募集対象 地区住民団体 40人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 8日（日） 8：30～17：00	これからの地域づくりにつながる 施設見学等	和田公民館

④講座を終えて 地域振興をテーマに茨城県内の体験型農業施設等の見学を行った。
参加者からも地域づくりに向けて参考になったとの感想を多く頂いた。

和田地区防災講習会

①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。

②募集対象 地区の成人 50人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月26日（日） 9：30～11：30	・令和元年度台風災害に係る講義 ・防災グループワーク	千葉県環境財団 岩井 久美子

④講座を終えて 地域に甚大な被害をもたらした台風災害について、専門家の視点から解説・講義をして頂き、その後に今後の災害対応について話し合うグループワークを行った。
喫緊の課題であるため、参加者も熱心であった。

和田市民大学地区交流会

①開設趣旨 心身ともに健康で生がいのある生活を保ち、世代間の交流を図る。

②募集対象 地区の成人（子・孫の参加可） 40人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月14日（土） 8：30～17：00	新型コロナウイルス感染拡大防止 のため中止	和田公民館

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年5回（5月号、9月号、10月号、12月号、2月号）
- 発行部数 各700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 309日 来館者数 1,403人
うち小学校社会科見学等団体来館数
平成31年4月～令和2年1月 13団体 776人

6. 図書事業

図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1, 800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	16	1	17	4	5	1	2	4	2	4	1	0	57
返却数	25	25	17	52	26	4	27	22	12	29	29	0	268